

アカズクビナガキバチ *Euxiphydria potanini* (Jakovlev)

【選定理由】

生息地である広葉樹林の伐採で生活の場を失いつつある。

【形態】

体長 20mm 内外。体は黒色で、頭部の上半は赤橙色で下半は黒色。脚は全体が黒色で翅は強く暗色を帯びる。

【分布の概要】

【県内の分布】

茶臼山周辺でのみ記録されている。

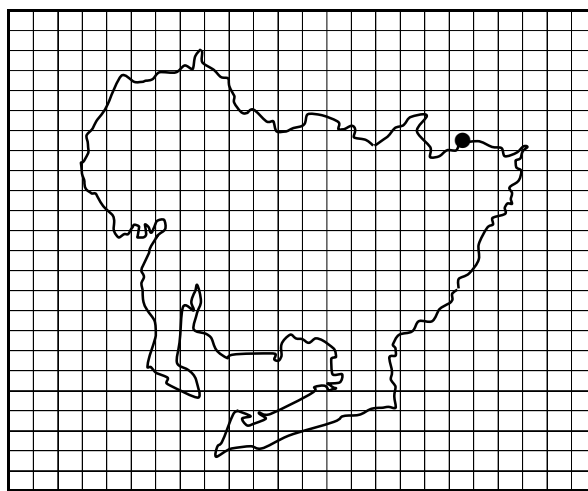
【国内の分布】

北海道、本州、四国、佐渡島。

【世界の分布】

中国、朝鮮半島、樺太、東シベリア。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

幼虫は山林内のカエデ科植物、特にイタヤカエデの材中に入って生活する。

【現在の生息状況／減少の要因】

森林の開発で、イタヤカエデなど広葉樹類が減少し、生活の場を狭められている。

【保全上の留意点】

良好で自然な山林の育成が必要である。

(2009年版を一部修正)